二十四日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵　稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓半
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

関加生意

豫算に就て一言

はの字

（下）

豫算を決める市會の如きもの丶仕事は歳入と歳出を照らし合せて、見積りに無理がないかどうか、事業に緊急性、必要性があるか等々を見るもので、私人經濟なるものは自己のために編んだ豫算の收支だが市經濟と云ふものゝ如きは、市民からの收納をもつて運用支辨し市民の利益幸福を增進するのが目的であつて、それを直接利害を感じないものに任せる運用なので飽くまで公明正大であらねばならない、

市會議員はこの公益の目的に立つ市民の代表としてそれを承認すると云ふ譯だ。また自治體の存在は無窮であるから事業も永久であり遠大でなければならない。この點は眼前の打算に生きる個人經濟とは異ふ。從つてその施設は私人經濟の如く現實的でなく無形の效果を得るための支出もあらう、其の結果は知らず識らず濫用浪費に陷り易いと云ふ樣な弊もある。

豫算の審議檢討は斯うした意味のもので其の收支關係と使途の內容を見る以外に何ものもないのである。ところが往々にして邪道に這入る、と云ふ例を語るなら幾らもあるが其の業を見ないで人を見る費の削減や否決、私感情で臨む名目の毛嫌ひで經費內容の同じいものに彼れ此れと理窟をならべる。公人の態度としてまことに遺憾至極である。今回の平市會にも共れがあつた。殊に大政翼賛に逆行する樣な言動は愼んで貰ひたく思ふ。

利潤意志をおしのけ出版界を支配せんとして登場した新らしい主人公が國家意志である事は今や何人も疑ひ得ない。（杉山平助）

磐城文化聯盟の事

南圭十郎

（一）

▲話のいとぐち

私はまだ勉强中なので人に先立つて物を云ふ身分ではないが近來再三色々な人に文化聯盟の事について意見を求められるので自分の考へをまとめて是に述べ勉强の資にしたいと思ひます。

平は近世の頃から磐城地方の生活の中心地であつたのです。時代々々の政治經濟の力が文化に作用するのは當然ですがその意味で磐城には一貫した磐城文化の歷史があつたと思ひます。明治から大正昭和と都會文化の流れが平の方へ影響を及ぼした事もあります。然し都會文化は近代資本主義の華であつて今日最早國民文化の推進體となり得ません。

▲磐城文化の基礎

磐城地方生活の主流は他の地方に比べて少しく複雜であつて農業と鑛業と漁業と混じてゐる樣に思はれます。從つて當地の地方生活は單純ではなく、地方人の精神文化、地方人の頭腦も著るしく近代性を帶びてゐたのでありますが只今の如く國民が總意總力之れ捧げる時期に於てはこの多岐性は一の障碍となるものと思はれます。勿論「文化」と云ふものは人の生活をより幸福にするものです。けれども近代的な「文化生活」等云ふ言葉は都會的なものであります。私共はこの樣な浮薄な過去の「惡く影響された文化」でなしに磐城の大地にシッかと根づいた眞の地方文化をハッキリ認識し確立しなければなりません。

地方文化を確立するには地方生活形態を先づ勉强しなければなりません。それと共にこれ迄惡く影響された諸部分を漸次良い方へ指導してやらねばなりません。これによつて產業人にとつては生產能率が高まり、地方人にとつては地方生活がより幸福になり、磐城の人々が正しい精神を持ち得られるとすれば、これが文化聯盟の眞の役割となると思ひます。

高木さんが先頃磐城文化聯盟を初めて提唱されました。これが相當各方面で眞面目に論議されてゐるのは喜ばしい事だと思ひます。私も大贊成であります。兎に角磐城文化聯盟は磐城にとつて必要物であると思ひます。磐城には優れた人が澤山居ります。どうか私のこの小論に拘泥せずどし〳〵書齋から街頭へ出て「磐城文化聯盟の事」について御意見を御發表下さる樣望みます。

次にこの文章の責任上私の拙い具体的意見を申し述べます。

「新律短歌」

（郡山）長谷川正男

ダラリとした猫の髯を寒風がなでて冬をさらつて行く
終業のサイレン掃き出された人々は長い影を我家へ運ぶ
雨だれの音私は五線の上に高く低く描かうと考へた
「紅茶一つ」白紙許り見つめてゐる毎日の私の眼はうるほふ
見送る感激の汽車がボケ出した私は涙をふくのさへ忘れてゐた
汽笛が鳴る辿つてゐた追憶の糸は切れた我に還る眞夜中

連續講談

異說赤穗浪士（いせつあかほろうし）

（155）

桃川若燕

畫 城木喬

僞醉ひ

『アッハッハッ譯も雜作もない事、第一に貴公は少し固過ぎるからいけない』

『ハ、ア』

『貴公のやうに女は嫌ひ酒は嫌ひでは話にならぬな』

『如何したら宜しうございませう……』

『先づ酒を吞む事だ、それから女を買ひ、伯母の前に出て少しは惚氣て見る事だ』

『それは六ヶ敷しい事で――』

『でなければ斷る事は出來ぬ亡き君への忠義と思へば嫌な事でもせねばならぬ、マア今宵邊り酒でも吞んで歸つたら伯父伯母も愛想がつきて養子の話しを止めるであらう』

『では早速酒を吞む事に致します……』

橫川勘平、大石內藏之助から智慧をつけられ、早速酒屋へ飛び込むと一杯酒を吞んだが、ソノ苦味い事我慢をして二三杯吞み、フー〳〵云ひ乍ら杵澤の家へ歸つて來た。

『ゲイ、伯母上只今戾りました』

『オヤ勘平、お前は酒を吞んでゐなさるね。日頃お酒を吞まないお前だつたが、今日はどうした事です……』

とば母さん一遍に心配した

『これはをば上、今日は勘平殊の外に酩酊致し居ります、何事も仰せられる事は御免を蒙ります、實は日頃より酒を好み居りますが……』

『どうしたものだらうね。養子の話が初まつたばかりなのに本當なら吞んだ酒も止めるのに、それがそんなに醉つて歸ると云ふのは、をぢさんに對して無作法になります。一體何の位吞みなすつたんだい』

『イエ澤山も吞みませんが友人三人で三升程……』

『何んだえ、三升、マア何處へそんなお酒が入るのだらう兎も角旦那樣が御覽になるとお叱りを受けるといけないから早く寢るがいゝ。お尋ねになつたら病氣と云つておくから……』

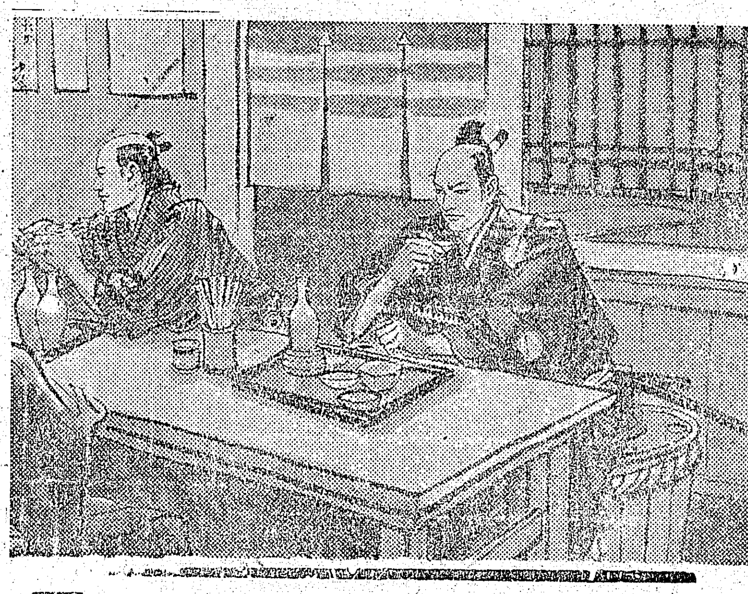
と云ふのも流石に親身の事折から芹澤助右衞門が歸つて來た。

『勘平が歸つて來たさうだの』

『ハイ戾りましたが少々不加減でございまして……』

『ウム鹽梅が惡いか、始終は死水を取つてもらふ勘平だ。一寸見てやらう』

助右衞門が部屋の障子を開けてみると病氣どころか、かん平、柱に寄り掛つて眞赤になつてゐる。



『どうしたかん平、加減が惡いさうだな』

『アイヤ伯父上、病氣ではございません。伯母は病氣だと申しますから據ろなく病人になつて居りますが、全くは大醉致し居ります』

『フーム、かん平酒を吞むか』

『實は愼しんで居りましたが今日朋輩に面會した故久々に一獻傾けました』

『さうか、よほどやると見えるな』

『イエ三人で二斗三升でございます』

『それは大出來だな。實は乃公もお前を養子にすると云ふ話をしたが段々退いて考へて見ると貴樣に限つて人間が堅い上に武藝學問が出來るし、一點を打つ所はないが只一つ不足と思ふのは貴樣が下戶だと聞いてゐる。外の役と違つて留守居と云ふのは交際が張つて、時としては隨分惡酒を勸められる事もあり、それを吞まないと新役の中は却つて役目に就いて不利益の事にも當るが、併し嫌ひな酒を習はせると云ふ事も出來ず、ア丶かん平が酒さへ吞んで呉れゝば留守居の養子には打つてつけだと思つてゐたんだ、所が三人で三斗からの酒を吞むと云へば、拙者の養子に申分はない。婆さんや乃公ものむから酒の支度をするがいゝ』

メガネの店

早期檢眼

正確な眼鏡により視力を保全致しませう

各眼科醫指定
處方眼鏡調製

玉屋眼鏡店 平市二丁目 電話635（呼）

能率的な自轉車で
銃前銃後は二人前の働き！

各種自轉車
販賣修繕

……修繕は念入懇切に且つ迅速に御勸め致します……

小野輪店
小名濱本町四〇

ミクローゼ
1家に1個常備の
胃腸・強生ピルツ劑

★クスリはホシ

東京・五反田
星製藥株式會社

健康を生産する

ミクローゼは、酵母以上に生存力が強靭で、消化酵素を多量に產生する日本固有のピルツ（有効菌）と、アミノ酸・ビタミンを始め各種榮養素とを豐富に含む胃腸強生劑であります。故に、食慾を旺盛にし、正確・自然な便通をもたらし、榮養の吸收、附加を助け、逞しい健康を生産するのであります。

醫學博士・豐島豐次郎先生創製

一ヶ月分・三六〇錠 一圓五〇錢

特に、左記症狀の方々に好適
各種胃腸疾患
食慾不振
常習便秘
結核諸症
脚氣諸症
腎臟炎
姙婦榮養補强

全國有名藥店にあり

生徒募集

一、募集人員
1、本科一年（二ヶ年卒業）八十名
2、裁縫專修科一年（二ヶ年卒業）八十名
3、師範科（一ヶ年卒業）二十名
4、專攻科（一ヶ年卒業）二十名
5、『附設』洋裁科（六ヶ月修了）二十名

二、入學手續
右各科入學希望者ハ本校規定在學證書ニ適宜記入捺印ノ上三月三十日マデニ平市藤田女學校宛ニ提出ナサイ、但シ定員ニ充チタル場合ハ期日前ト雖締切ルコトアルカモ知レマセン

三、其の他
◎詳細ハ本校宛學則請求ナサイ（返信料三錢封入ノコト）

昭和十六年二月
福島縣平市田町
文部大臣認可
藤田女學校
電話三二八番

お宅の体温計は正確ですか？
毎月十日は無料で体温計を檢査して差上げます、どうぞ御遠慮なくお持ち下さい

營業課目
醫療藥品 有名賣藥 食糧品 寫眞機材 吸入用酸素
工業藥品 衛生材料 染料塗料 化粧品各種 計量器各種

計量器指定販賣所
みやこ染特約店
養生堂
小名濱町本町通り
電一四七

病室增築、手術室完備
產科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄三
平市新川町「電話二二六九番」

外科一般 內臟外科 性病科 肛門科
▽入院應需△
平市南町（警察署通り角）
外科 木村醫院
木村淳
電話三〇九番

內科、產科 婦人科
▽一般診療に應ず△
▽病室完備入院應需△
久保田醫院
小名濱町 電話二二番

周旋開業
永らく料理店にて御贔負に預りました若美家が此程周旋業に轉業致しました故宜しく御願ひ致します
藝妓 娼妓 酌婦
四倉町驛前
若美家
松本キヱ

歯科一般
佐々木歯科醫院
日本歯科醫學士 佐々木三郎
泉村小學校前 電話一番

割烹 越の家
平市二丁目 電三三〇

割烹 松本樓
電話三一一

おでん
平市新田町
電話三三番

おでん たつた揚 やきとり
一平
平市一丁目

翼賛体制整ふ

平支部結成・協力會議開く

大政翼賛會平支部結成式並に初の協力會議は二十三日午前十時から市公會堂に開催された、出席者は市理事、市協力會議員（市常會委員）顧問、參與、區內會長等六十餘名で縣支部から鈴木警察部長並に加藤宗平氏臨席、定刻伊藤助役開式を宣し宮城遙拜、國歌奉唱、二千六百年に賜つた勅語奉讀、皇軍の武道長久と戰歿將士の英靈に祈念をこめ支部長青沼市長開式の挨拶を述べ、近衛總裁の告辭（鈴木部長代讀）支部常務委員宅宰者祝辭（加藤理事代讀）があり次の誓を滿場決議して式を閉ぢた

引續き協力會議に移り青沼支部長挨拶を述べ、本部並に縣支部提案の指示事項について質疑應答あり、上通する纒つた提案、意見なども出でず萬歳奉唱して閉會、市支部の翼賛體制も全く成り下部指導に積極的に乘り出すことに成つた

誓

我等ハ畏ミテ大御心ヲ奉體シ和衷協力以テ大政翼賛ノ臣道ヲ完ウセンコトヲ誓ヒマツル

指示事項

一、本運動育成强化の件
一、戰時食糧增産節米運動に關する件
一、興亞奉公日の件
一、貯蓄奬勵の件

で工業關係者が大部分を占めてゐる

四倉柔道會で

疊寄附

武道鍛錬を奬勵する

四倉町柔道有段會員十余名は武道鍛錬を奬勵するため百六十餘圓醵金し、四倉署演武場の柔道用疊二十一疊の購入資金を寄附し、一般町民へ呼びかけ柔道の稽古をはげむことに成つた

小名濱警防團

警協會から表彰

今二十五日大日本警防協會より表彰される小名濱警防團では午前五時二十分泉驛發で縣警防課長、久和平署長、高木團長外直屬部長二名、分團長四名が上京、晴れの表彰式に臨んだ

感心な兄弟

小遣錢八十一圓献金

小名濱町古港野崎貞行氏長男武一君外利雄、アイ子、セツ子の五名は父より御土産代りに貰ふ小遣錢を貯めた八十一圓四十錢をこの程同町役場を通じ陸軍恤兵部へ献金した

理容組合

本縣東部石城、双葉、相馬三郡下の理容組合聯合會の幹部會は四月十五日四倉町に開催することに決定した

翼賛運動の指導者養成

皇運扶翼會で修鍊道場開く

皇運扶翼會縣支部では、皇運扶翼の精神を徹底せしめ、臣道の實踐を躬行する地方指導者を修練せしむる目的の下に二十七日から五日間久の濱町波立藥師堂に於て第七回地方指導者修鍊講習會を開催することに決定、參加人は六十名で

地方扶翼會の結成並に實踐訓練に從事すべき指導者乃至は大政翼賛會の地方推進力として眞體制の中核體を爲し得べき者

にして市町村長並に學校長、各種團體、翼賛會、神職會員自身か、若しくはこれ等の人々に推薦された者の內から選拔受講せしめる、日程、講師其の他次の如し

◇申込

三月二十五日までに福島市置賜町皇運扶翼運動縣支部乃至四倉町同濱方部分區へ申込むこと

◇日程

【第一日】廿七日午後一時までに會場集合（晝食自辨）二時半始業式、三時半始禊祭四時開講義

【第二日】特別行事無く講義

【第三日】午前八時中日祭、九時出發參拜遠足

【第四日】講義を主とす

【第五日】午前八時終禊祭、同十時半講義、十一時半修了式、正午直會、午後一時散會

◇費用

講習中食費聽講料一切不要

◇講師及演題

△事變解說と國防論、軍務局中佐大久保弘一氏△日本精神と臣道實踐、國學院大學教授千家尊宣△時局問題　代議士、泉國三郎△扶翼運動の理念と農村問題、大政翼賛會議會局主査、助川啓四郎

厨芥を利用

養豚奬勵

平市が隣組へ呼かける、

翼賛會並に全日本厨芥利用協會では「大いに厨芥を利用せよ」と國民に呼掛けこれを養豚の餌料に當てるべく奬勵してゐるが今度平市でもこれに呼應、市內に厨芥養豚を奬めるべく差當り翼賛會、同協會の印刷物を市民に配布、常會隣組などに具體的にこの養豚方法を說明、お台所の厨芥物を利用豚を養ひ不足勝ちな豚肉を補ふ一方これを賣却して貯蓄も出來る一石二鳥の名案である

磐城高女の進學生

決定通知廿七名判明

磐城高等女學校卒業生中今年度上級學校に入學を許可されたる者は逐次判明しつつあるが、目下判明せる重なるものは次の如くである

△日本女子大家政科、馬目輝子△東京女子大英文科、吉田ちゑ△帝國藥專、大和田キヨ子、遠藤京子、飯土井タカ△家政學院、百澤英子、△東京音樂、根本ツネ子△實踐專門部、松崎幸子、千葉怜子、市川君子、長瀬君子、五十嵐實枝子△東京女師二部、青木離枝子、鈴木國子、雫石英子△福島師範二部十二名

藤田女卒業式

生徒の作展も開く

平市藤田女學校の第五十六回卒業式は今二十四日午前九時から擧行

卒業生一同の製作品を陳列し一般に展覽せしめた

主なる來賓は伊藤助役、久和署長、野崎市會議長、大森醫師、正木磐女校長夫人、久野ヒサ、井上ミネ、門傳トミノ氏等十八名でその他父兄が臨席した

◇優等生△本科（五十三名）○新妻和子、秋元智慧子、伊藤ふみ子、桑原あや、渡邊スイ、赤塚キクエ△師範科（十四名）田邊美那子、○大森ナミ子、荒球江、木田クニ△專攻科（十七名）○早川和泉、井出芳、井上和子△裁縫專修科（八十六名）○下山田愛子、荒川良志子、吉野光子、志賀トモ子、吉田フク子、吉田榮子、佐藤三衛子、小野カル子、佐藤郁子、國井マキ

（○印は總代）

校門後に就職する

少年産業戰士

出發準備に指導所へ殺到

平國民職業指導所では管內小學校卒業式を終へたのでこれ等小學校を巣立つた若い産業戰士を一日も早く産業第一線に送り出すべく全所員擧げて年度變りの〝總決算〟に大童で今二十四日の如きは同所に押し掛けた新卒者は開所前から受付け控室を獨占、續々來所するため一般就職者並に相談者は寄つて付けず、同所を占領した新卒關係者は約四百名の多數に上り指導所よりハミ出された者は順番の來るのを屋外で待つ騷ぎ

指導所では卒業以前に銓衡就職割當も濟ませ目下出發日取り、集合地、輸送方法などに取掛つて居り、今廿四日より同所を經由して就職決定者の出發はこゝ十日內に約六百名に上る見込み

施政上の抱負

太新任町長革新を力說

江名町長に新任した太清左エ門氏は二十二日初登廳し役場吏員、水道部吏員を集め大要次の如き新任挨拶をした

町村は國家の基本である、從來の自由主義的經濟狀態はこの際樹直さなければならぬ、この爲には町役場を中心として明朗町政の樹立と人事の充實、經濟更新等が焦眉の急務で消費節約は町政上非常に影響がある

と施政上の抱負を述べ町政刷新を力說、目下空席にある收入役の任命と産業組合關係は急速に好轉するものと期待されてゐる、尙ほ新町長太清左エ門氏並に前町長作山一枝氏の歡送迎會は二十三日午後五時から役場に書記新妻和平氏の歡送會も兼ねて開かれた

麥作春分作況

增産時代に嬉しい豊作

今冬の麥作春分景況は二十日縣農試神谷分場から發表されたが、二月頃まで降雨量極めて尠なく旱魃を思はせたが三月に入つてから雨量平年に比較して五十八粍も多かつたのと高温の關係から成育の遅れを一時に挽回し二十日現在平均は草丈八寸三分二厘、莖數百六十一本七となりこれを平年に比較すると草丈二寸八分七厘、莖數十四本八の增加ぶりでこのまゝで生成すれば『豊作疑ひなし』と太鼓判を捺されるに至つた食糧增産時代に嬉しい中間報告である

産組石城部會

廿六日總會開く

産業組合石城部會では明二十五日平市の部會事務所に幹事會を開き引續いて二十六日マルトモ樓上に總會を開催、新年度豫算及び主事を支會に移管することになつた機構變更その他につき協議をなす筈である

公立中等校巡り【十九】

運動部の活動

校風・校紀を振肅する

磐城中學校の卷（六）

【運動部史】

磐中校友會各部、特にその中の運動各部の活躍史を次に繰りひろげて見よう。運動部が優勝してゐるやうな時は校風もあがり、上級學校の入學率も好くなるもので、學校の校風は運動部選手に左右されることが多い。學業成績は好くなくても運動部の主將とかリーダーとか、或は選手とかで技倆のすぐれてゐる者、好く部員を統率して行く者の中には將來社會に出て立派な働をするものが多いものだ。運動部は校風、校紀上の大切な部門だ。

さて磐中近年に於ける運動部活躍狀況を紹介して見よう

◇水泳部

十二年、十四年の二高主催の大會に優勝してゐる

◇庭球部

昨十五年中磐城軟球協會主催縣下中等學校選權手大會に優勝、明治神宮大會府縣對抗に出場して第一回戰に長野を破り、第二回戰に岡山に破られてゐる（酒井二郎本多正行）

◇柔道部

昨年濱通り中等校大會に優勝、明治神宮大會には二段櫻井勝美君が縣代表として出場、更らに全國壯丁訓練武道大會にも出場してゐる

◇競技部

十四年度縣下中等學校國防競技大會に優勝、參加校十九枚、十五年明治神宮縣下豫選に走高跳に比佐正君優勝縣代表となる（記錄一米六〇）福島高商主催の大會にてフィールドにて優勝

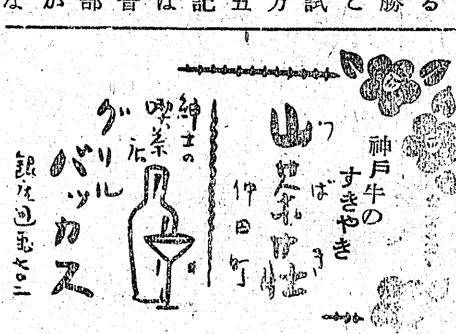
◇排球部

十四年明治神宮大會の縣下豫選に決勝戰に郡商を屠つて優勝、大會には秋中に惜敗

◇籠球部

十五年明治神宮縣下豫選に優勝、決勝戰は福中と對し三五對三〇にて勝つ、本大會には福岡師範に敗る、選手…遠藤好一、渡邊政之坂本由一、鈴木斧吉、色川瑛、新妻唯男、大谷繁雄

以上の他運動部としては野球部と弓道部と劍道部がある運動部の目的は優勝旗や優勝盃をとることが目的でないことはいふを待たぬ。しかし試合に出場する以上は勝つた方が好いにきまつてゐる。廿五學級の學校としては今年の記錄は決して花々しい記錄とはいへぬ。山森校長は運動を普遍化して、全部の生徒が何部かに屬して運動し、その中から立派な選手が出るやうにならねばならんと主張してゐる我々は此主張にも賛意を表する。我々は山森校長の統率下にある磐中新學年度の運動部の活躍を刮目して待たう。


神戸牛の
すきやき
山
仲田町
紳士の喫茶店
グリル
バッカス
銀座通電七〇二

蒟蒻粉に新生面

四倉工場近く竣成、業務開始

石城郡の蒟蒻粉は年産生玉五十萬貫を資源とし、隣縣茨城の太子粉、群馬の下仁田、岡山の備中粉等々全國の三指に比肩する聲價を上げてゐるが製粉工場不充分のため郡販組合では縣南農村工業分工場の名により四倉驛前に建設を計畫し農林助生金七千三百餘圓の交付を受け去る一月起工器械（砂川式）取付けその他の設備中であつたが竣工近づき來る五月五日から作業開始を豫定されてゐる、同工場の能率は精粉年産七百駄（四十五貫目俵二俵）六萬九千貫と云はれるので生玉三百六十貫から荒粉七十五貫、その荒粉から精粉四十五貫の割合を以てせず恰度郡生産の全部を加工するに足るものと豫想さる尙從來軍部に納むる優良品は殆んど群馬の下仁井田獨占の形であつたが新工場に依つて同所に劣らぬ心構へをもつて優良品を軍部へ納入し殘りのものを全部地方消費に供することになつてゐるので同工場の實現は地方の蒟蒻作に好刺戟を與ふることであらう

銃後の赤誠

◇平市材木町小曾熊吉氏は亡母の供養に十九日市銃後奉公會へ金五十圓を寄附した

◇平第一小學校三年四組長瀬昇平、鈴木康之、大竹唯之、佐藤克哉の四君は十九日市役所へ慰問袋一個を寄託した

◇久の濱町字北町自轉車店小出喜平さんはお客さんの使つた油の損料を貯めて金五圓を恤兵部へ献金した

◇四倉町菓子商三好堂水口忠助さんは包紙を節約して金五圓を四倉署に託し國防献金した

海軍へ献金

三兒童本社へ寄託

平第一校の高二ノ二安部榮次、尋五鈴木太門、第二校尋五安部雅子さんの三君は二十四日本社を訪問、小遣錢を貯めた九十錢を海軍國防献金として本社へ寄託た

兒童の赤心

平第二小學校尋五の二組生木村照子さん外三名は小遣錢を貯めた金一圓六十五錢を二十四日市役所に國防献金方を寄託した

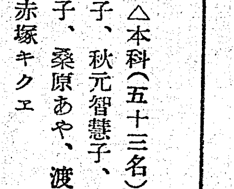
隣保館修了式

平市立隣保館の修業式は今二十四日午前十時から同館に執行した

呉越同舟

今度江名町長に納つた太清左エ門氏は舊体制で云ふと政友系の江名町指導者格であり、現助役江尻藤次郎氏は民政黨の統帥者であつた、圖らずも今回の町長改選で一ツ屋根の下に一方は主人であり此方は女房の役を勤めなければならなくなつた、所謂呉越同舟の象である、舊体制下には仇敵同士であり、白を黑と主張する間である果して、この夫婦は舊關係をサラリと捨てゝ琴瑟相和し御互の長所を褒め合つて行けるかどうか？江名町民もこの夫婦には尠からず興味を持つて居り太町長、江尻助役もクスグツタイ氣持で新体制に便乘し圓滿に町制を推進したい氣持ちで居るらしい

商況



（二十四日）

【野菜】

	高	安
葱	一六	一二
人參	二五	二〇
油菜	一三	八
ホーレン草	三五	二五
大根	六	
牛蒡	四五	四〇

【鮮魚】

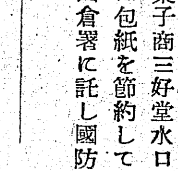
時化のため出漁船なく平魚市場は連日の閑散續き、尙今二十四日は出漁船ボツボツあるらしく明日の市場に期待掛けられてゐる

平市慶弔錄

【出生】本籍平市四波字三反田九十八番地現住所植田町植田松崎平次郎長男一さん△本籍平市久保町十五番地現住所大浦村上仁井田佐々木國治四男五郎さん△本籍平市一丁目五番地現住所若松市榮町酒井正夫長男正道さん△平市南町二十九番地山崎幸平長女佐代子さん

【婚姻】東京市城東區箭田定男（二三）さんと平市大舘八番地大塚和子（二八）さん△好間村北好間佐藤文雄（三六）さんと平市中平窪字堂田二十九番地小林千代子さん（二七）△千葉縣東葛飾郡柏町增谷寫一（二九）さんと平市北目町百三十六番北小瀧ちゑ（二六）

【死亡】本籍平市長橋町四十九番地現住所新潟縣柏崎市比角酒井京子（六三）



舊二月二十八日　火曜　壬申　大安　執　翼宿　新三月二十五日

▲一白　家業は繁昌すれども爭論口舌を避くべき日

▲二黑　阿ゆ妄辯は身を過つ甚眞面目なれば立身す

▲三碧　手段の惡きに非れども功果現はれざる凶日

▲四綠　期せずして他の反感を招く事あり短慮嚴戒

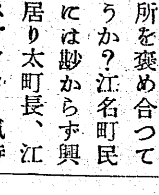
▲五黃　利を以て誘はるゝも動かず本分を盡さば吉

▲六白　元氣沈み自由行動の採れぬ日外事は殊に凶

▲七赤　諸事展開を來たす吉日起校投資金談凡て吉

▲八白　萬事急がず自然の發達を待つべし願望成る

▲九紫　險惡の氣籠りて諸事意の如くならず害多し



（二十五日）

今晩　北西の風曇小雨模樣

明日　北西風曇りからだんだん好くなる

滿潮　前三、三五　後三、四〇

干潮　前九、一五　後九、三〇

田毎のみつ豆

田町　電六三二

成田團体募集

一、期日　四月三日午前七時卅七分平發　四日午前九時頃成田解散
一、會費　金九圓貳拾錢也　宗吾靈堂御護摩料ヲ含ム
一、定員　百五十名　準備ノ都合アリ滿員ニナラヌ中ナルベク早ク御申込ヲ乞フ

平市大新榮講
講元　井上貞治郎

女車掌募集
未經驗者を希む
【經驗者を可・本人御來談乞ふ】
有限會社　平合同タクシー
平驛前　電話348番

創立總會公告

平商業組合創立總會ヲ左記ノ通リ開催致候間同意者各位ハ萬障御繰合御出席相成度此段及公告候也

記

一、日時　昭和十六年四月一日午后一時
一、場所　平市公會堂
一、協議事項　創立ニ關スル諸事項

追而一缺席ノ場合ハ必ズ委任狀御提出被下度候

昭和十六年三月十五日

平商業組合設立發起人
總代　山崎與三郎

同意者各位殿

砂利小賣販賣

◉長橋町三十番地へ貯藏所を設けました。容れ物御持參下されば小量でもお賣り致します、
◉五合以上の御注文は特に運搬も致します

神谷砂利店
平市白銀町　電話六六五番